



国際ロータリー第2680地区  
**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2020-2021

2020-21年度 RI会長: ホルガー・クナー / 地区ガバナー: 高瀬 英夫  
加古川ロータリークラブ会長: 城 貴博 / 幹事: 久後 勇人  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和3年3月16日(火) 曇 No. 22



会長挨拶

山口環境保全委員長

### 会長の時間

会長 城 貴博

今月は「水と衛生月間」です。

「地球は青かった」人類初の有人飛行に成功したガガーリンの有名な言葉です。宇宙から見た地球は青くて、「水の惑星」といわれています。実際に地表の3分の2は水で覆われています。しかし、その大部分は海水で淡水はわずか2.5%しかありません。その淡水も南極や北極の氷や氷河がほとんどで、地下水や河川、湖沼などの水は0.8%、地下水を除くと私たちが使える水は更に少なく、全体の0.01%しかありません。地球上の全ての水がお風呂一杯の水だとすると、私たちが使える水はたった一滴だそうです。この一滴の水を人類だけでなく、地球上のすべての陸上の生物が分けあっているのです。「水の惑星」といわれている地球ですが、実際に使うことのできる水の量はとても僅かです。

私たちにとって、水は毎日の生活に欠くことのできないものです。朝、起きてトイレに行き、顔を洗って歯を磨きます。炊事にも水は欠かせません。夕方に帰宅するとお風呂にも入ります。生活のすべてに私たちは水の恩恵を受けています。しかし、世界中には、こうした生活習慣とは無縁の地域が数多く存在しています。きれいな水やトイレや衛生設備がない日常を送っています。

世界の43カ国、約7億人もの人々が、水不足の状況で生活しており、これは地球上の人口の9.7%になります。また、5歳未満の子どもたちの中で、5人に1人は、汚れた水しか飲むことができないため、下痢から脱水症状に陥り、命を落としています。毎日4900人(年間約180万人)の子どもたちが亡くなっています。

RIは、井戸を掘ったり、雨水貯蔵システムを設置したりするだけでなく、それらの設備を維持する方法を地域の人たちに教えてきました。発展途上国で衛生設備の整備にも取り組んでいます。衛生的なトイレを提供すると同時に、手洗いや衛生習慣を推進しています。

3月22日は「世界水の日」です。水資源の保全と開発について理解と関心を深めるための日です。身近なところでは、炊事や入浴時のシャワーの際に、節水を含めて水の重要性について改めて考えたいと思います。

そして、本日は「環境保全デー」となっておりまして、山口環境保全委員長の卓話です。よろしくお願いいたします。

### 幹事報告

1) BOXにハイライトよねやまを入れております。

### ニコニコ



- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 省 | 略 | ☺ | 山口環境保全委員長、本日の卓話よろしくお願いいたします。                 |
| 省 | 略 | ☺ | 「環境保全デー」にちなみ、大山会員よりエコバックをいただきました。ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 山口環境保全委員長、本日の卓話楽しみにしております。                   |
| 省 | 略 | ☺ | 大山会員、エコバックをいただき、ありがとうございます。                  |
| 省 | 略 | ☺ | 環境保全例会を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。             |
| 省 | 略 | ☺ | 大山会員エコバックありがとうございます。                         |
| 省 | 略 | ☺ | 山口会員、フォーラム楽しみです。                             |
| 省 | 略 | ☺ | 山口様、楽しみに来ました。                                |
| 省 | 略 | ☺ | 例会に来れた喜び。                                    |
| 省 | 略 | ☺ | 山口会員、本日の卓話よろしくお願いいたします。                      |
| 省 | 略 | ☺ | 1年ぶりの出席です。よろしくお願いいたします。エコ Bag お使いください！！      |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。                                |

以上12件 ¥25,000-  
本年度累計¥1,136,000-

### 出席委員会

☆ 今 週 会員数 75名 出席 36名 出席免除 16名 欠席 23名  
☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 75名 出席 46名 出席免除 17名 欠席 12名  
☆ メークアップ 加古川中央RC 3/4 今村、木下、正木、高浜  
地区大会 3/7 神木、森、城、久後、藤本光、畑、石川、河合、芝本  
橘、竹位、田邊、山本、大辻  
2020 学年度米山記念奨学生修了式・歓送会 3/13 高田  
2021 年会長エレクト研修セミナー(PETS) 3/14 藤本光

## 親睦活動委員会

例会場当番

3月23日(火) 松尾、田邊

4月 6日(火) 西井、山本



## プログラム委員会

本日3月16日(火)	3月23日(火)	3月30日(火)	4月6日(火)
環境保全デー 山口環境保全委員長 担当	卓話 「ミャンマーについて 考える」 前川建設(株) ス ウェイ ニン様 前川真 担当	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)]	卓話 「アザトーク! 字が好きな男」 松井 担当

## RI 会長エレクトが 2021-22 年度の会長テーマを発表

人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」とメータ氏

カルカッターマハナガル・ロータリークラブ(インド、西ベンガル州)に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オーランド(米国フロリダ州)で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル(オンライン)で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会后まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。

そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを越えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である“という信条を持つようになりました」

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずですよ」

### 多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22 年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。

**「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを越えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」**

**シェカール・メータ  
国際ロータリー会長エレクト**

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去 20 年間、約 120 万人のまま横ばいです。このため、2022 年 7 月 1 日までに 130 万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)は、今後 17 カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」